

第 137 回 番組審議会 議事録

◆開催日時 2025 年 10 月 22 日(水) 10:00~

◆開催場所 (株) キャッチネットワーク 特別会議室

◆出席者

<委員>※総数 10 名のうち 7 名出席

刈谷市: 岸本 浩子 委員長

安城市: 石川 昌子 副委員長

碧南市: 石川 三成 委員

知立市: 小栗 朋広 委員 坪川 優子 委員

高浜市: 廣田 久雄 委員 深谷 里美 委員

<エフエムキャッチ>

代表取締役社長: 小森 浩司

局長: 勅使河原 正直 局員: 土田 隆浩

◆欠席者

<委員>

碧南市: 榊原 正子 委員

刈谷市: 二摩 佳樹 委員

安城市: 山田 基光 委員

◆議事内容

議題1 番組審議

1.「Break!」についての意見交換

【局より「Break!」についての番組説明】

番組コンセプト :

午後、ちょっと疲れた時にリフレッシュできる、フレッシュな声と楽しいトーク。生活に必要な身近な情報をお届けする、ブレイクタイムにぴったりな 2 時間。

番組内容 :

地域の情報・エンタメ情報や若者の間での流行など、若い視点でお届け。

ターゲット :

社会人 20~40 代 学校終わり、勉強中の中・高校生

【ご意見】

- ・パーソナリティがお笑い芸人をしていることもあり、聞きやすかった
- ・「疾病(しっぺい)」を「しつびょう」と読んだのが気になった
- ・若者向けということもあり、なじみのない曲が多かった。知っている曲を少しでも混ぜてもらえると世代が広げられるのではないか。
- ・「エリアアトピックス」のコーナーではどのようにネタを選定しているのか、どの市の情報を選定しているのか？
 - (局)→碧南、刈谷、安城、知立の情報をディレクターがバランスをとって広報誌から集めている
- ・アンサチはどのようにしてネタの選定をしているのか？どこから依頼を受けているのか？
 - (局)→アンフォーレから依頼を受けて実施。ネタは独自に商店街から集めている
- ・若い世代は特に、「パーソナリティが好き」、「曲が好き」、「番組の流れが好き」などで聴くので、若者にとっては良いと思う。若者以外にも広げるために話題を広げていっても良いかと思った。市のエリアを広げたりだとか、話題を広げたりとか。
- ・防災イベントをやっても参加する人が少なく、関心を持たれていないが、「防災インフォメーション」で一步踏み込んで経験者などの言葉で語ってもらうと関心をもって聞いてくれるのでありがたい。
- ・40代ですが、知っている曲がなかった。「若者の間で流行っている曲」などのねらい、前置きがあると、年配の世代も聴けるかもしれない

(局)→選曲は主にディレクター、一部をパーソナリティで行っている。若者の間で流行っている曲以外にも最新の曲のため、流行る前の曲もあり、できるだけ説明できるようにはしたい

- ・選曲がゆったりした曲が多かった。中2の娘は面白そうに聞いていたのでターゲットとはあっていなかった。
- ・自分の好みにあった曲や内容だった。曲も知っている曲はなかったが雰囲気がよかつた
- ・「Break!」の公開収録を行うアンフォーレスタジオは少し観覧しにくい
- ・「BBN」のコーナーは、それぞれのパーソナリティが気になっていることなどを話してくれて、若者がどんなことを考えているのかの参考になるため面白く聴くことができる
- ・トークと曲の音のレベルが、曲のほうが大きいような気がする
- ・小学校の校歌が流れる「マイスクールソング」のコーナーはまだ続くのか？校長先生が学校紹介をしている時代から聴いている。

(局)→ずっと住み続けている人が母校のものを聞いてなつかしさを感じてもらえるよう継続して行っている。今後は中学校の校歌も放送検討していきたい。

議題2 その他の番組などについて

「KARIYARS コーナーのその後について」

(局)→前回の審議会で「8月中にカリヤーズのコーナーは調整、カリヤーズは生放送ではない部分で出演予定」だと連絡させていただきましたが、9/1の出演を最後に収録番組に移行しました。

「環境問題、食糧問題、など社会情勢に合わせた話題は扱ってはどうか?」

(局)→世の中で賛否両論を振り切って話さないこと以外は、パーソナリティの言論は制限していないが特に専門で扱う時間はない。社会や地域にとってプラスになるようなことをパーソナリティに局から働きかけていきたい。

事務局から

◆次回開催予定 2025年12月17日(水) 10:00~11:00

以上の議事を進行し、閉会しました。

以上